

開講日	2009年12月期 月曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室B	医	技	保
				●	○	●
コーディネーター	名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床薬剤学分野教授 木村和哲			※●:コア科目、○:選択科目		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】医薬品の開発は目覚ましいものがある。近年、疾病の原因や薬物の作用メカニズムを薬物受容体の観点からとらえ、より選択的な薬が開発されている。さらに、遺伝子工学的手法で個々の患者を対象としたオーダーメイド医薬品も期待されている。薬の剤形も様々な工夫がなされ、その使用に際して一定の知識が不可欠である。この講座では、新しい医薬品情報を提供し、正しい薬の使い方を概説したい。 【期待される成果】臨床現場から離れた看護師、医師、薬剤師に、最新の薬物治療を理解して頂くことで、医薬品の適正使用、副作用の早期発見に貢献できると思われる。			
目標とする 資格				

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
薬物治療 の基礎事 項	1	くすりの正しい飲み方	内服薬が食前、食後、食間と服用時点が指示されているのは何故でしょう、必ず守らなければいけないのでしょうか、くすりを飲み忘れた時にはどうしたらいいのでしょうか、日頃疑問に思われていることにスポットをあて、お話ししたいと思います。	12月7日	教授 木村和哲 名古屋市立大学医学部 臨床薬剤学
薬物治療 の各論	2	抗がん剤と安全管理	化学療法レジメンの管理法、疑義照会など、安全な化学療法の実践に求められるシステム的な管理方法を学び、リスクマネージメントの意識を高める。	12月14日	がん専門薬剤師 黒田純子 名古屋市立大学病院 薬剤部
	3	糖尿病治療薬 一使い方と副作用対策一	糖尿病治療薬の使用方法、患者教育方法から、副作用への対策について、日本糖尿病療養指導士の視点より解説します。	12月21日	講師 菊池千草 名古屋市立大学薬学部 臨床薬学教育研究センター
	4	オーダーメイド医療について	薬物の効果や副作用の発現には個人の遺伝子の相違が大きな影響を及ぼしています。遺伝子の差異に応じた、医薬品の適正な選択や投与量の調節、また、副作用発現の予測・防止など今後の個別化医療のあり方について概説します。	12月28日	講師 前田 徹 名古屋市立大学薬学部 臨床薬学教育研究センター
	5	抗がん剤と分子標的治療薬	がんの増殖を抑制する薬剤には、殺細胞作用を有する抗がん剤だけでなく、分子標的治療薬が近年新たに登場した。本講座では、代表的な抗がん剤および分子標的治療薬について、適正使用の観点からその特徴等について概説する。	1月4日	薬剤師 近藤勝弘 名古屋市立大学病院 薬剤部
	6	降圧薬: 最近の薬に強くなるう	高血圧患者は日本に約4,000万人います。最近の新しい降圧薬を作用機構別に紹介し、その実際のな使いかた、効果、副作用、禁忌などを学びます。また、現在開発中のこれから期待される新薬についてもご紹介いたします。	1月18日	教授 藤井 聡 名古屋市立大学薬学部 病態解析学
	7	記憶障害・学習障害の治療薬	アルツハイマー病など、記憶や脳機能が障害される病気に対する薬物治療を学ぶ。また、学習障害に対する薬物治療の可能性についても学ぶ。	1月25日	教授 服部光治 名古屋市立大学薬学部 病態生化学
	8	透析患者への薬の使い方	腎機能の低下した患者は薬物動態が変化することが知られている。薬剤を通常量を投与した場合、さまざまな副作用を惹起する可能性がある。前述を踏まえたうえで、透析患者における薬剤投与における注意点について概説する。	2月1日	薬剤師 田中章郎 中部労災病院薬剤部
	9	一般用医薬品と改正薬事法	平成21年6月薬事法の改正が全面施行され、一般用医薬品の販売管理方法が大きく変更され、それを受け、医療用医薬品の中から一般用医薬品として販売されるものが増えています。一般用医薬品の最近の話題を中心に講義します。	2月8日	教授 鈴木 匡 名古屋市立大学薬学部 臨床薬学教育研究センター
	10	排尿障害のくすり	排尿障害はいろいろな原因から起こります。加齢、薬による副作用。40歳以上では2500万人が何らかの排尿障害があると推定される。この講義では薬の副作用のよる排尿障害。排尿障害の治療薬についての基本的な事をお話します。	2月15日	薬剤師 杉山洋介 名古屋市立大学病院 薬剤部
	11	漢方薬の使い方	西洋医学的に対応が困難な疾患に対して、漢方薬を用いた治療法の有用例が報告されてきている。本講義では基本的な漢方薬の使い方について学習する。	2月22日	准教授 牧野利明 名古屋市立大学薬学部 生薬学
	12	EDと勃起不全治療剤の使い方	糖尿病、高血圧、高脂血症、心血管障害など血液循環に関連する生活習慣病を有する方はEDが起こりやすくなります。この講義ではED発症のメカニズムとPDE-5阻害剤の使い方と使用上の注意事項をわかりやすく説明します。	3月1日	教授 木村和哲 名古屋市立大学医学部 臨床薬剤学
	13	薬物受容体とイオンチャネル	「逆薬理学」と呼ばれる手法や「逆作動性(インバース)アゴニスト」が開発され、新薬開発の方向性やプロセスは変化しています。本講座では、受容体・イオンチャネル創薬の最前線について概説します。	3月8日	准教授 大矢 進 名古屋市立大学薬学部 細胞分子薬効解析学
	14	ワーファリンの使い方	ワーファリンの基本的な薬理作用や実際の服薬指導、また副作用症状や検査値のモニタリングなどについて学習する。	3月15日	薬剤師 吉川一規 名古屋市立大学病院 薬剤部
	15	麻薬の管理とその使い方	医療用麻薬の①種類(内用:徐放性/速効性、外用、注射)、②管理方法(交付、保管、施用、返却、事故の対処等)、③使用方法(癌性疼痛対策)を解説します。	3月29日	係長 松本晴年 名古屋市立大学病院 薬剤部